2023 年度　　授業概要

科目名	発達障害治療学				授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8 回	時間数	15 時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年時期	2年 前期

【授業の目的・ねらい】
発達障害分野の作業療法評価と治療について学ぶ。
人間発達学や小児科学で学んだ事をベースに観察評価を行い発達障害について考える。

【実務者経験】
兵庫県立のじぎく療育センターにて作業療法士として勤務後、地域に密着した公民館などの場所で発達相談を行う。

【授業全体の内容の概要】
運動障害から行動障害・社会性障害を含む疾患への作業療法としての対応を学ぶ基礎として子どもの発達と作業療法、評価について学ぶ。

【授業終了時の達成課題（到達目標）】
発達障害領域の疾患を理解する前提として、子どもの発達と発達障害領域の評価について説明することができる。

回数	講義内容	準備物(教材)
1	Introduction	資料・PC プロジェクター
2	子供の発達と作業療法（姿勢・運動発達とその背景・感覚統合機能の発達）	資料・PC プロジェクター
3	子供の発達と作業療法（認知・思考機能の発達・コミュニケーション機能の発達）	資料・PC プロジェクター
4	子供の発達と作業療法（子供の発達と遊び・セルフケアの発達と遊び）	資料・PC プロジェクター
5	評価（発達障害領域の作業療法評価）	資料・PC プロジェクター
6	評価（情報収集および面接）	資料・PC プロジェクター
7	評価（観察の視点・発達像を把握するための検査）	資料・PC プロジェクター
8	評価（評価結果と障害構造の分析）とまとめ	資料・PC プロジェクター
	定期筆記試験	

【使用教科書・教材・参考書】
ゴールドマスター発達障害治療学改訂第2版 メジカルヴュー

【準備学習・時間外学習】
小児科学の講義を振り返る。また、疾患と作業療法の結びつきをしっかり理解するよう復習しておく。

【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】
試験の結果を100点満点として成績を評価する。
試験は定期筆記試験を100点とする。
60点以上の場合に科目を認定する。